

当院におけるT2Tの取り組み

1. 専門スタッフの充実

リウマチ指導医・専門医

リウマチ財団登録薬剤師(1)

リウマチ財団リウマチケアナース(8)

RA専門リハビリスタッフ

放射線技師 (sharp scoreのレントゲン撮影・MRI)

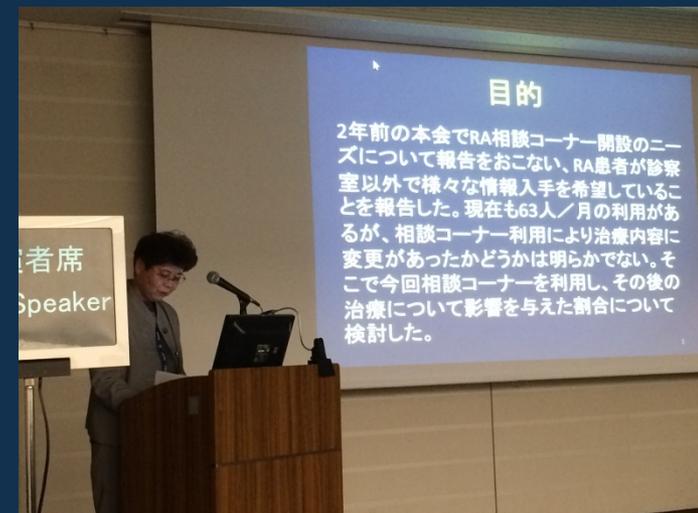
検査技師 (関節エコー技能)

2. T2Tのマネージメント

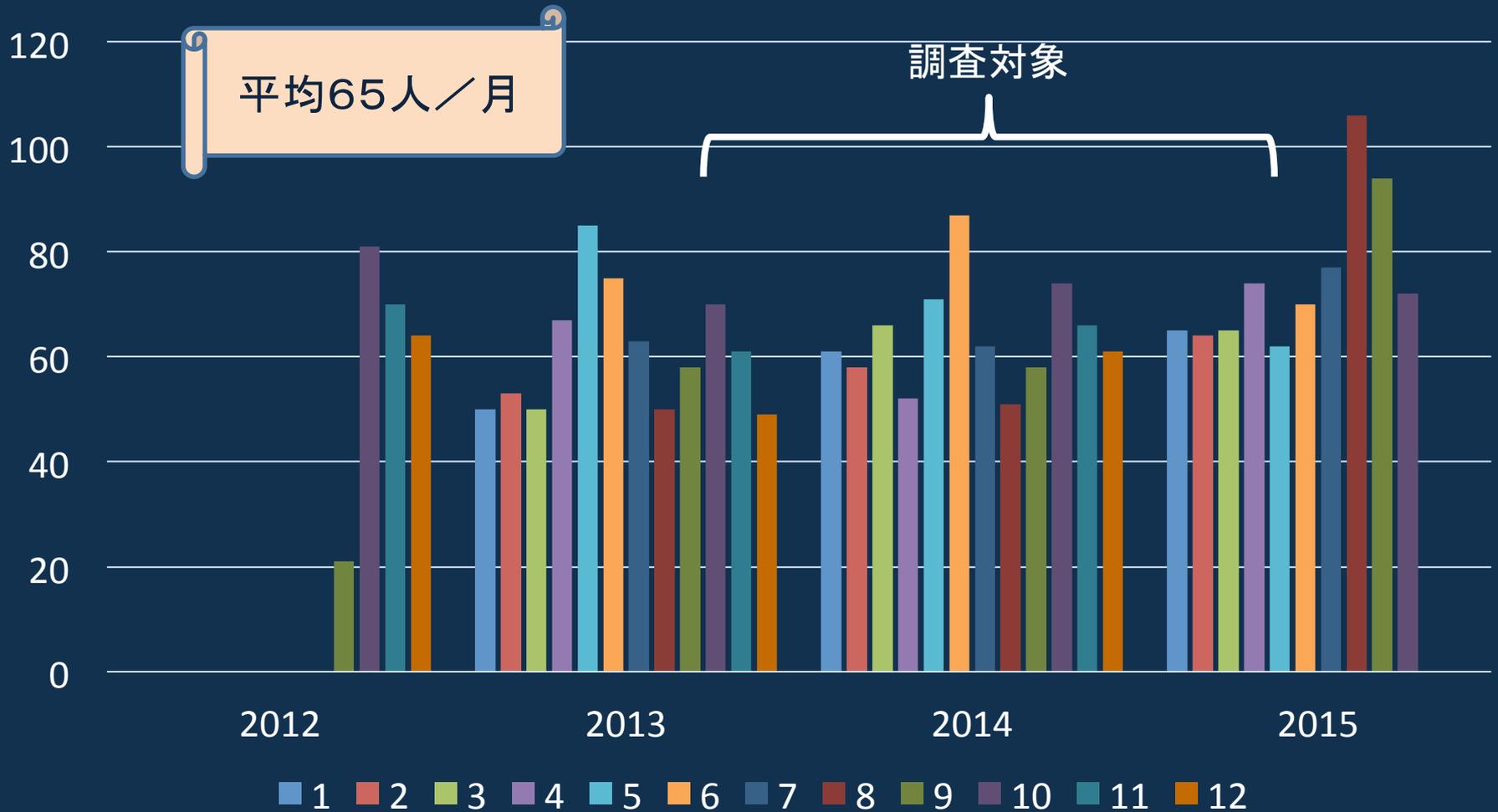
オリジナルリウマチ手帳

リウマチ相談コーナー

RA患者の治療成績向上と満足度UP



RA相談コーナー利用実績



患者背景：年齢 63才／女性 83％／罹病歴 8年

通院RA患者とRA相談コーナー

診察

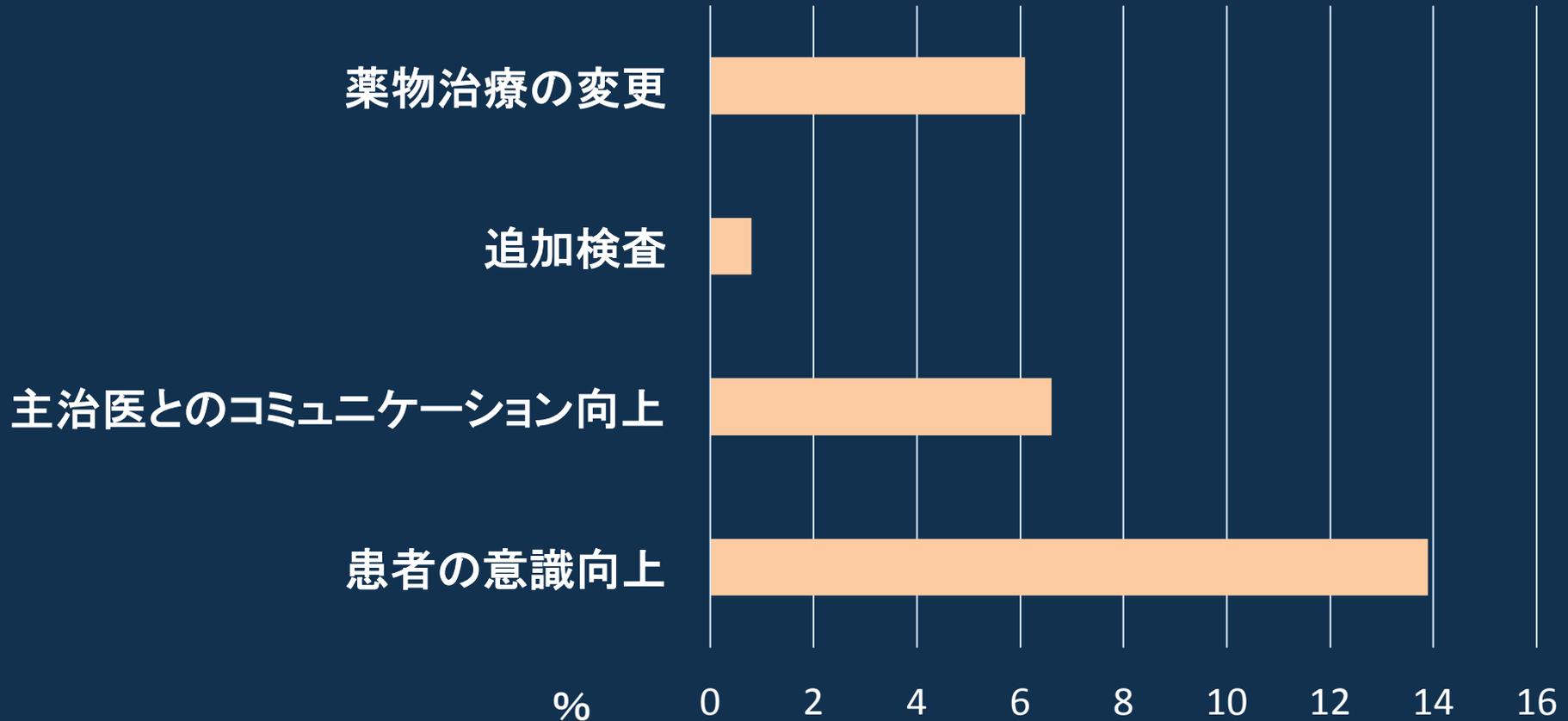
RA手帳の運用
定期的な検査(画像・コアセット)

RA相談コーナー

疾患に関する疑問
薬剤に関する疑問
日常生活への対処方法
家族へのアドバイス
主治医とのコミュニケーション
リウマチ手帳の使い方

患者自身が主治医に治療に関する相談や治療内容の疑問点を話す。RA手帳の上手な使い方やゴール設定など明確にしていく。

治療への介入実績



自分や家族などの生活相談: 72.6%

→ 悩みを聞くことは心理的負担の軽減になっている

RA相談コーナーの意義

診察以外に必要：54%

患者様の声

- ・ 診察時に聞けなかったことを聞ける。詳しく説明してもらえる。
- ・ 自分から治療に口出ししてはいけないと思っていた。
- ・ ここで背中を押してもらって自分から先生に話しができた。
- ・ 自分もしっかりしないといけないことがわかった。
- ・ こんな所がほしかった。聞いてもらえるだけでホッとする。
- ・ リウマチ手帳—こんなのがほしかった。

まとめ

現在RAケアナースがRA手帳と相談コーナーにおいてRA患者を支える手助けをしている。
相談コーナーを開設して3年、治療成績とは直接関係しない相談内容が7割を占めるが、今回の解析により、相談コーナーはRA患者のT2T達成のためにもある程度寄与しており、継続していくことは重要であると考えられる。
今後は対象を外来患者に加えて入院患者にも利用できる体制を検討していく予定である。